



## 2. 今年度の取り組み（構想）

戦略室として目標は、全日本チームに本県中学・高校出身の選手が毎年1名は選出され、国民体育大会では、毎年ベスト8以上の成績をあげられることとする。そのために指導者の普及・強化、選手の普及・強化を考え、活動していく。その中で指導者のレベルアップに重きを置き活動する。

昨年度はバスケットボールフェスティバルを開催し、各指導者が同等の実力のチームを率い、自己のコーチングを試す場を設けることができた。指導者においては普段では味わえない刺激を受けることができ、自己のモチベーションの高揚につながったと考えられる。選手においても、日頃のチームではできない、プレーにチャレンジしたり、各地区対抗やカテゴリーが上のチームに挑戦したりと、指導者同様に良き機会になったと思われる。

今年度も昨年同様フェスティバルを軸として活動していく。具体的な中身については以下の通りである。

### 【ミニフェスティバル】

時期：男子 12月13日 金沢市総合体育館

女子 12月14日 北電体育館

チーム：各地区選抜におけるトーナメント

地区編成や人数については変更なし

### 【ミニ・中高フェスティバル】

時期：2月7, 8日

チーム：①ミニ選抜（U12）、中学各地区選抜（U13）におけるトーナメント

ミニ選抜を2チーム、中学各地区選抜を6チームに変更する

①能登②河北・金沢北部③金沢中部・南部④白山・野々市  
⑤小松⑥能美・加賀とする。

②Jr オールスター（U14）、高校1年生選抜（U16）3チームによる計4チームでリーグ戦。人数等は変更なし

③大学選抜、次年度少年男子、少年女子候補（U17）とエキシビジョンマッチ  
大学選抜1チーム、U17代表1チームと1試合を行う

試合は大会2日目（8日）に男子1試合、女子1試合をする

\*U17に高校1年生が候補になる場合は②のU16では選出せず、U17で選出し他の選手をU16として選出する。

### 【その他】

- ・コーディネーション・ハンドリングテストの導入（来年度へ）
- ・指導者間のコミュニティの模索